



摂食嚥下訓練の実際

～自身の嚥下訓練手技を 運動学的視点から検証しよう～

講師 柴本 勇先生（聖隷クリストファー大学）

摂食嚥下訓練は、その多くが運動学的アプローチです。運動学習的アプローチの視点も必要ですし、運動負荷の視点も必要です。一般的に運動訓練は過負荷の法則に則ると言われています。しかし、これらは臨床経験から得ている場合も多く、研究においても様々な結果が示されています。このような背景もあり、成書ではあまり触れられていません。また、普段臨床で行っている訓練は求める訓練になっているでしょうか？今回の技術セミナーでは、これらの疑問に答えるべく表面筋電を用いながら検証し、訓練技術向上を目指します。

プログラム

9:00	受付開始
9:30～10:30	運動学的視点からみた摂食嚥下訓練
10:40～12:10	訓練手技の検証（基礎的嚥下訓練）：実技
13:00～14:00	各訓練法のねらいと手技
14:00～15:30	訓練手技の検証（摂食訓練）：実技
15:30～16:00	質疑応答

言語聴覚療法臨床研究会

第2回技術セミナー

普段の臨床で「この方法、目的に合っている？」「このやり方、ねらった運動訓練になっている？」と疑問に感じることはありませんか？今回の技術セミナーは、「技術の検証」というテーマで企画しました。どうぞご参加ください。

2020年3月20日（祝）

会場：大阪保健医療大学 2号館

対象：言語聴覚士ほか

参加費：1,000円

定員：200名（先着順）

申し込み方法

下記のアドレスに①～③を記載し、メールでお申し込みください。

1週間以内に返信メールを送信します。届かない場合は、必ず電話でお問い合わせください。

①お名前 ②ご所属 ③緊急時の連絡先（アドレスと電話番号）

お申し込み先

gengorinsyoken@gmail.com

お問い合わせ先

090-6554-7182

tamaki.oonishi@ohsu.ac.jp